

### 6チャンネル マルチプレクサ MCS-661 NTSC

このたびは、6チャンネル マルチプレクサ MCS-661 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
正しくご使用いただくために、かならずこの取扱説明書をお読みにになり末永くご愛用ください。  
特に「安全上のご注意」はかならずお読みにになり、安全にお使いいただきますようお願い申し上げます。  
お読みになったあとは、後日お役に立つこともありますので、いつでも見られるところに保管してください。

#### 概要

MCS-661 は、最大 6 台の TV カメラ映像を順次切換え、VCR に録画する機能と、TV カメラの映像を任意の時間で切換えてモニタする機能、また VCR に記録された映像の中から任意の映像を選択してモニタする機能を持った機器です。

#### 特長

- 非同期の TV カメラを使用できますので、システム アップが簡単にできます。
- カラー方式を採用していますが、モノクロ カメラも使用することができます。
- モニタ出力より 4 分割/6 分割画面の集中監視ができます。
- 各分割画面に任意のチャンネル映像を割り当てられる機能を備えています。
- 切換えノイズのない、自動切換え(オート シーケンス)機能を備えています。
- モニタ出力を 2 系統備えています。(メイン,スポット)
- 各チャンネル映像に最長 8 文字のタイトルを設定できます。(英数字,カタカナ,記号)
- 連続モード,タイムラプス モードのどちらの VCR にも対応しています。  
また、CPU によるフィールド切換え(002~999)を備えています。
- デジタル記録機器に対応しています。
- ボタン操作を禁止するロック機能を備えています。
- センサアラーム入力はメイク接点,ブレイク接点、いずれの入力にも対応しています。
- アラーム発生情報を最大 100 件まで記録するアラーム イベント メモリを備えています。
- アラーム入力時、VCR 出力映像のインターリーブ切換え機能を備えています。
- カレンダー表示機能を備えています。
- レジューム機能を備えています。電源を OFF にした時の画面を記憶し、次回の電源投入時、同じ画面で立ち上がります。(ライブ モードに限る)
- ボタン操作(1 と 6 ボタンの 2 つ押し)による時刻の 30 秒補正ができます。
- RS-232C または RS-485 を備えています。(オプション)
- パスワード設定ができます。
- ラック マウント可能です。(オプション)

# 目次



安全上のご注意	1	4.ビデオ ロスの設定 (VIDEO LOSS)	16
各部の名称と働き		4-1.MONITOR OUT	16
■前面部	4	4-2.VCR OUT	16
■背面部	5	4-3.SIGNAL OUT	17
接続方法		5.タイトルの設定 (TITLE)	17
■システム例	6	5-1.SET SELECT	17
■端子台の接続	7	5-2.POSITION SELECT	18
■RS-485 の接続	8	5-3.MONITOR FULL	18
基本動作		5-4.MONITOR MULTI	18
■電源スイッチ ON/OFF	9	5-5.VCR OUTPUT	18
■ライブ モード	9	6.画面表示の設定 (LIVE CHANNEL)	19
●単画面表示	9	6-1.MONITOR	19
●分割画面表示	9	6-2.SEQUENCE MULTI	19
●自動切換え(オート シーケンス)	9	6-3.VCR	19
■VCR 録画	10	6-4.AUTO SEQ.TIME	19
■VCR 再生	10	7.ランダム画面の設定 (RANDOM SET)	20
●フリーズ	10	7-1.4A	20
●チャンネル表示	10	7-2.4B	20
●ライブ モードに戻る	10	7-3.D6	20
■VCR バイパス出力	10	8.VCR トリガの設定 (VCR TRIGGER)	20
■アラーム入出力	11	8-1.MODE	20
■インターリーブ	11	8-2.FIELD	20
■リモート操作	11	9.その他の設定 (OTHER)	21
■ボタン ロック	12	9-1.PASSWORD	21
メニュー設定		9-1-1.OPERATION	21
■メニュー表示	12	9-1-2.MENU	21
■メニューの操作方法	12	9-1-3.NUMBER	21
1.アラーム イベント記録		9-2.CAMERA SELECT	21
(EVENT MEMORY)	13	9-3.MONITOR COLOR	21
●アラーム イベント件数	13	9-3-1.LEVEL	21
●アラーム イベント記録	13	9-3-2.CONTRAST	21
2.アラームの設定 (ALARM)	13	9-4.INTERFACE	22
2-1.EVENT ERASE	13	9-4-1.DATA RATE	22
2-2.MODE	14	9-4-2.SLAVE ADDRESS	22
2-3.INPUT CONTACT	14	9-5.REMOTE IN	22
2-4.DURATION TIME	14	9-6.BORDER LINE	22
2-5.RETURN	14	9-7.SPOT MONITOR	22
2-6.EVENT NUMBER	14	9-8.DIVISION 6	22
2-7.SIGNAL OUT	14	パスワードの入力方法	23
2-8.RECORD MODE	15	ロック マウント方法	23
2-8-1.MODEL ID	15	■ゴム足の取りはずし方	23
2-8-2.PATTERN	15	■ロック マウント金具の取り付け方	23
2-8-3.INTERLEAVE	15	製品仕様	24
3.日時の設定 (TIME SIGNAL)	15	故障かなと思う前に…	25
3-1.30SEC.ADJUST	15	品質保証規定	25
3-2.CLOCK ADJUST	16	おことわり	25
3-3.DISPLAY	16		
3-4.MONITOR FULL	16		
3-5.MONITOR MULTI	16		
3-6.VCR OUTPUT	16		

# 安全上のご注意 かならずお守りください




安全に正しくお使いいただくために、この「安全上のご注意」をよくお読みください。

## ■絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	<b>警告</b> この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	<b>注意</b> この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## ■絵表示の例

	△記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。
	⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

		<b>警告</b>	
●本機のケース・裏パネル等はずさない!	内部には高圧の部分があり、感電の原因となります。 ・改造などは絶対におこなわないでください。 ・内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。		
●本機を濡らさない!	火災・感電の原因となります。 ・雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。 ・風呂・シャワー室などの水場では使用しないでください。 ・本機の上に水などの入った容器を置かないでください。 ・万一水などが中に入ったときには、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。		
●本機の開口部から金属物や燃えやすいものなどの異物を差し込まない!	万一異物が入ったときには、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。		
●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない!	感電の原因となることがあります。		
●電源プラグやコンセントにほこりなどを付着させない!	ほこりによりショートや発熱が起って火災の原因となります。湿度の高い部屋、結露しやすいところ、台所やほこりがたまりやすい場所のコンセントを使っている場合は、特に注意してください。		
●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない!	コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。かならずプラグを持って抜いてください。		
●雷が鳴り出したら使わない!	電源プラグや接続ケーブルには絶対に触れないでください。感電の原因となります。		
●アース線を接地する	感電を避けるためにかねらず接地をしてください。アース線は絶対にガス管に接続しないでください。爆発や火災の原因となります。		

## 安全上のご注意 かならずお守りください



### 警告

<p>●電源電圧 100~120V 以外の電圧で使用しない！ 火災・感電の原因となります。</p>	
<p>●煙が出ている、変なおいいや音がするなどの異常状態の場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！ そのまま使用すると火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。</p>	
<p>●本機が故障した場合、落としたりケースが破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！ そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店に修理をご依頼ください。</p>	
<p>●移動させる場合は、かならず電源スイッチを切り、プラグを抜き、機器間の接続ケーブルをはずす！ コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。</p>	
<p>●長期間使用しないときは、安全のためかならず電源プラグをコンセントから抜く！ 火災の原因となることがあります。</p>	



### 注意

<p>●本機の上に重いものを置かない！ バランスがくずれて倒れたり落下してけがの原因となることがあります。 また、重みによって故障の原因となることがあります。</p>	
<p>●コード類は正しく配線する！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電源コードを熱器具に近づけないでください。</li> <li>・電源コードを本機の下敷きにししないでください。</li> <li>・足などにケーブルを引っかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。</li> </ul>	
<p>●設置場所にご注意ください！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不安定な場所に置かないでください。</li> <li>・磁気を発生する機器の近くに置かないでください。</li> <li>・直射日光のあたるところや熱器具の近くに置かないでください。</li> <li>・冷凍倉庫や外気にさらされるなど、温度変化の激しいところには置かないでください。</li> <li>・振動や衝撃の加わるところには置かないでください。</li> <li>・腐食性ガスのあたるところには置かないでください。</li> <li>・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湿気があたるところには置かないでください。</li> </ul>	
<p>●本機の通風孔をふさがない！ 通風孔をふさぐと内部に熱かこもり、火災の原因となることがあります。 壁から 10cm 以上離して設置してください。また、次のような使いかたはしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本機を仰向けや横倒し、逆さまにする。</li> <li>・風通しの悪い狭い所に押し込む。</li> <li>・じゅうたんや布団の上に置く。</li> <li>・テーブルクロスなどをかける。</li> </ul>	

■定期点検とお手入れについて

※お手入れの際は安全のため、電源スイッチを切り、電源コードのプラグを抜いてからおこなってください。



**注意**

●電源コードが傷んだ(芯線の露出・断線など)場合は交換を依頼する!

そのままで使用すると火災・感電の原因となります。販売店に交換をご依頼ください。

●内部の掃除について

内部の掃除については、お買い上げの販売店にご相談ください。

機器の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災・故障の原因となることがあります。

●電源プラグの掃除をしてください

電源プラグを長時間差し込んだままにしておくと、差し込み部分にほこりがたまり、火災の原因となることがあります。

年に一度くらいは、プラグを抜いてほこりを取ってください。

●カバーは乾いた布で拭いてください

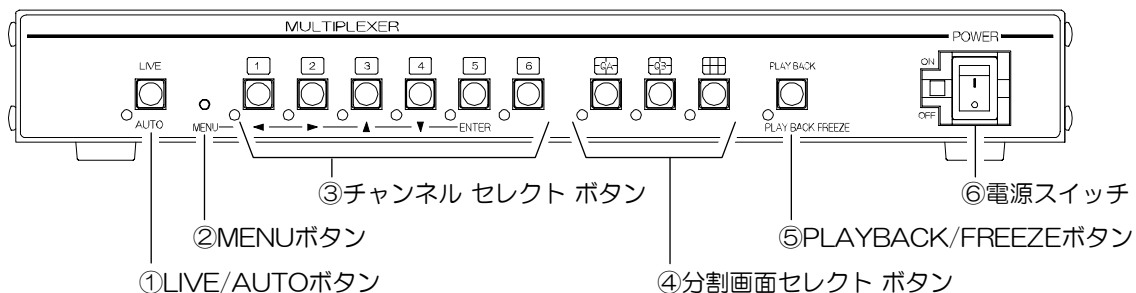
汚れがひどいときは、うすめの中性洗剤液を浸しよく絞った布で拭き取ってから、から拭きしてください。

このとき、液が内部に入らないように注意してください。

ベンジン、シンナー、アルコールなどの液体クリーナーやスプレー式クリーナーは使用しないでください。

# 各部の名称と働き

## ■前面部



### ①LIVE/AUTO ボタン

- (1)ライブ モード時にこのボタンを押すとオート シーケンス動作となり、単画面 1～6、および各分割画面の映像を順次切換えて表示します。表示中の映像に対応したチャンネル(分割画面) セレクト ボタンの LED が点灯します。
- (2)2 秒以上長押しすると VCR 映像が直接モニタ映像出力端子から出力されます。(LED 点滅)
- (3)アラーム動作中はこのボタンでアラーム動作を強制解除し、オート シーケンス動作にします。
- (4)タイムラプス VCR からのトリガ信号が入力されると LED が点滅します。(VCR TRIGGER 設定 HIGH/LOW 時のみ)

### ②MENU ボタン

メニュー画面を表示/終了するボタンです。(ライブ モード時のみ)

### ③チャンネル セレクト ボタン

- (1)ライブ モード時/プレイバック モード時に 1～6 チャンネルの単画面を表示します。押されたボタンの LED が点灯します。
- (2)メニュー画面表示中はメニュー設定ボタン(◀,▶,▲,▼,ENTER)として使います。
- (3)アラーム動作中は、アラームのあったチャンネルの LED が点滅します。1～6 いずれかのボタンでアラーム動作を強制解除し、そのボタンの単画面表示にします。
- (4)1 と 6 のボタンを同時に押すと時刻が 30 秒補正されます。

### ④分割画面セレクト ボタン

- (1)ライブ モード時/プレイバック モード時に 4 分割 A/4 分割 B/6 分割画面を表示します。押されたボタンの LED が点灯します。
- (2)アラーム動作中はいずれかのボタンでアラーム動作を強制解除し、そのボタンの分割画面表示にします。

### ⑤PLAY BACK / PLAY BACK FREEZE ボタン

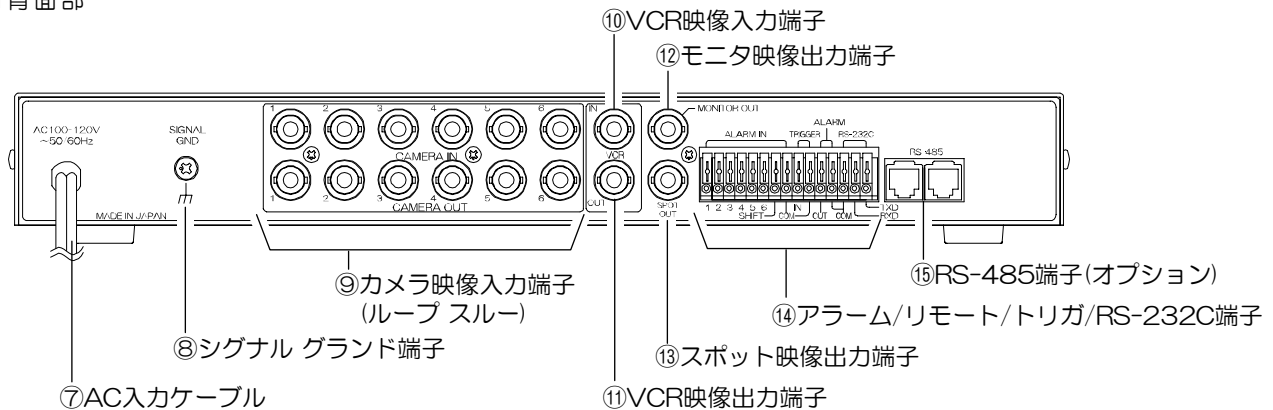
- (1)VCR を再生状態にしてこのボタンを押すとプレイバック モードになり、VCR 映像をモニタ映像出力端子から出力します。
- (2)再生中にこのボタンを押すと映像が静止し LED が点滅します。画面右上には“FREEZE”の文字が点滅します。

### ⑥電源スイッチ

本機の電源を ON/OFF します。ON にすると LED が点灯します。

# 各部の名称と働き

## ■ 背面部



### ⑦ AC 入力ケーブル

AC100-120V 50/60Hz のコンセントに接続してください。

### ⑧ シグナル グランド端子

信号用接地端子です。機器間相互のグランドを取るために接続してください。

### ⑨ カメラ映像入力端子 1~6(ループスルー)

TVカメラの映像信号を CAMERA IN 1~6 に入力してください。(75Ω 終端)  
CAMERA OUT 1~6 はループスルー出力です。ループスルー時は 75Ω 終端 OFF となります。

### ⑩ VCR 映像入力端子

VCR のビデオ出力端子からの映像信号を接続してください。(75Ω 終端)

### ⑪ VCR 映像出力端子

VCR の映像入力端子へ接続してください。(75Ω 終端)

### ⑫ モニタ映像出力端子

メイン用 TV モニタの映像入力端子へ接続してください。各単画面、各分割画面、メニュー画面を出力します。(75Ω 終端)

### ⑬ スポット映像出力端子

スポット用 TV モニタの映像入力端子へ接続してください。選択したチャンネルの単画面を出力します。(75Ω 終端)

### ⑭ アラーム/リモート/トリガ/RS-232C 端子

#### (1) アラーム入出力端子

各チャンネルにアラーム信号を入力し、アラーム動作時にメイク接点信号を出力します。(DC12V 100mA 以下)

#### (2) リモート入力端子

各チャンネルにリモート信号を入力し、画面表示を切替えます。アラーム入力端子と兼用でメニュー画面でアラーム/リモートを選択します。

#### (3) トリガ入力端子

タイムラプス VCR からの録画用トリガ信号を入力します。

#### (4) RS-232C 端子

RS-232C によりリモート制御がおこなえます。(コマンド表はオプション)

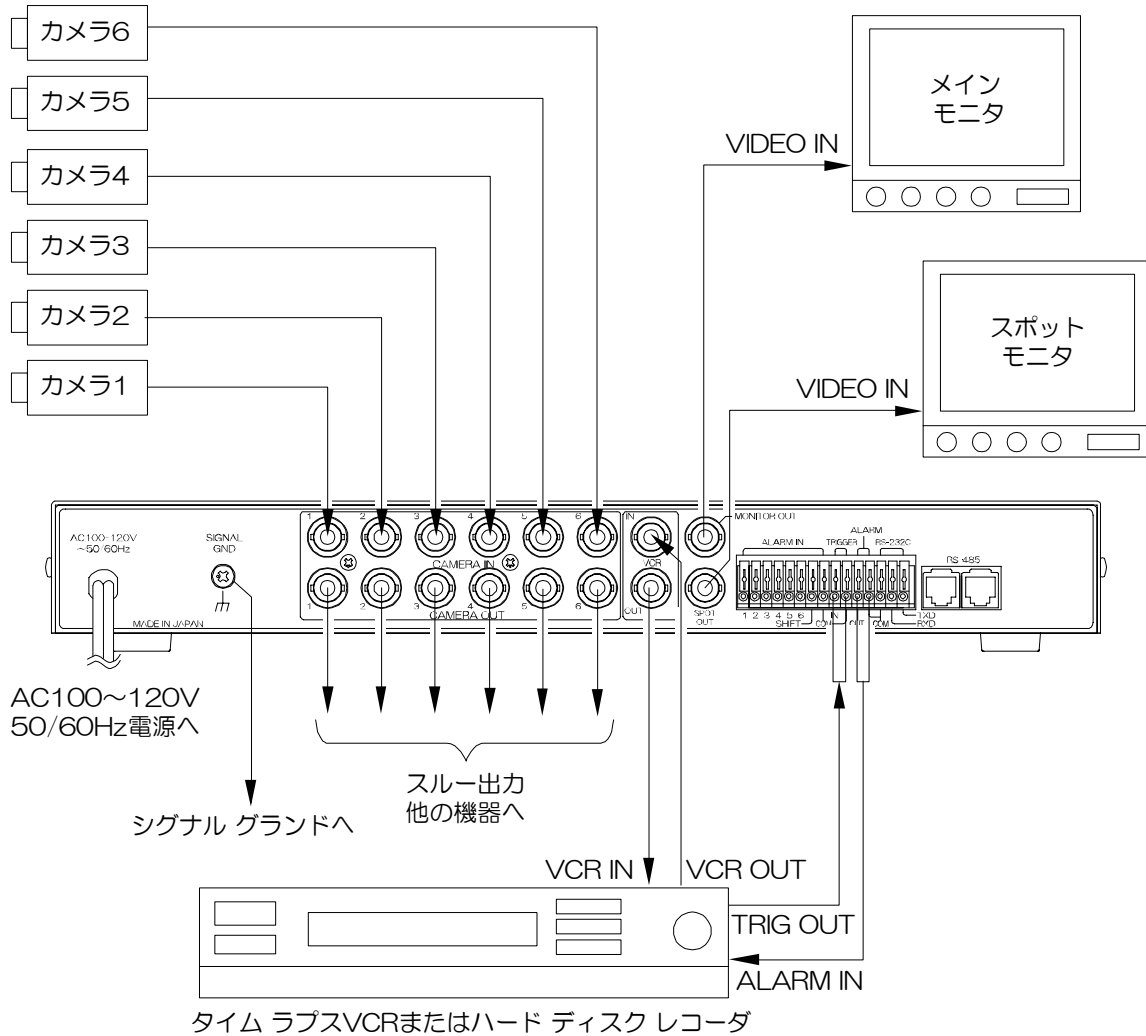
### ⑮ RS-485 端子(オプション)

デジリーチェーン接続してリモート制御をおこなう場合の接続端子です。(Half Duplex)

# 接続方法

## ■ システム例

次の配線図を参考にして接続してください。



- 注意 ● 電源は全ての接続が終わってからつないでください。  
 ● 電源をつなぐ前に必ずコンセントの電圧を確認してください。  
 ● 本機の各映像、および出力端子には電圧を加えないでください。



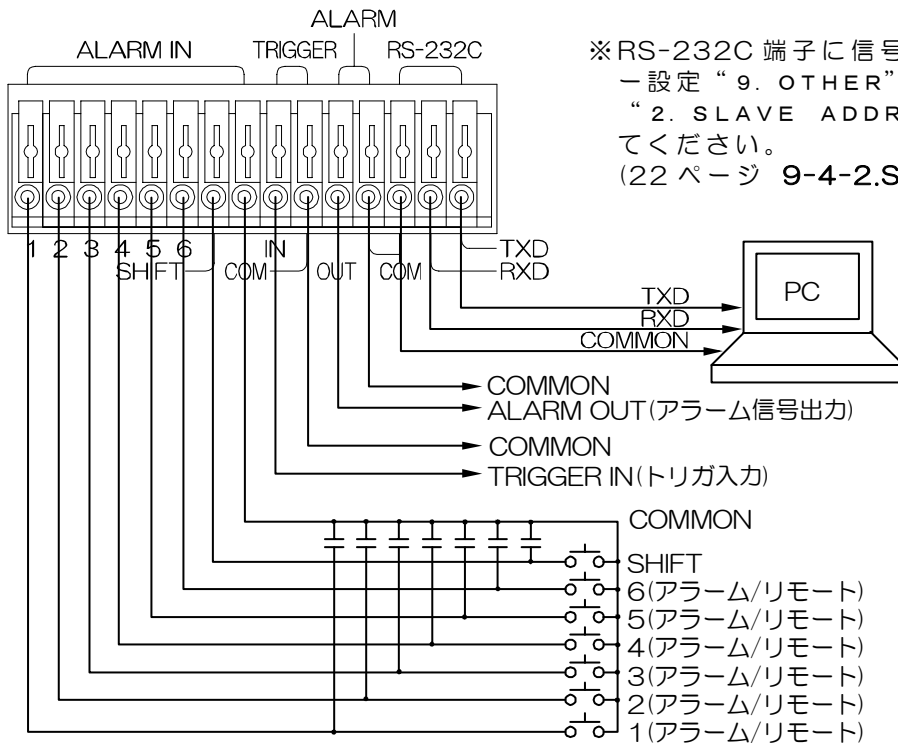
# 接続方法

## ■ 端子台の接続

※ALARM IN 端子を使うときは、メニュー設定“9. OTHER”内の“5. REMOTE IN”でALARM/REMOTEを選択してください。(22 ページ 9-5.REMOTE IN 参照)

※ALARM IN 端子を**アラーム**として使うときは、メニュー設定“2. ALARM”内で各種設定ができます。(13～15 ページ 2.アラームの設定 参照)

※ALARM IN 端子を**リモート**として使うときは、下表をご参照ください。1～6 に単独で入力すると1～6の単画面表示となり、SHIFTと1～6を組み合わせると、分割画面表示や各種動作をおこないます。



※RS-232C 端子に信号を入力するときは、メニュー設定“9. OTHER”内“4. INTERFACE”内“2. SLAVE ADDRESS”を“OFF”に設定してください。(22 ページ 9-4-2.SLAVE ADDRESS 参照)

端子表記		機能	
上側	下側		
ALARM IN	1	アラーム/リモート 1	+SHIFT：4 分割 QA
	2	アラーム/リモート 2	+SHIFT：4 分割 QB
	3	アラーム/リモート 3	+SHIFT：6 分割
	4	アラーム/リモート 4	+SHIFT：自動切換え,ライブ
	5	アラーム/リモート 5	+SHIFT：再生,フリーズ
	6	アラーム/リモート 6	
	SHIFT	リモート SHIFT	
TRIGGER	COM	COMMON	
	IN	タイムラプス トリガ信号入力	
ALARM	COM	COMMON	
	OUT	アラーム信号出力 オープン コレクタ DC12V 100mA 以下	
RS-232C	COM	COMMON	
	RXD	RS-232C RXD	
	TXD	RS-232C TXD	

- 注意
- 各端子には電圧を加えないでください。
  - TV カメラ映像を入力していないチャンネルにはリモート/アラーム信号を入力しないでください。
  - ノイズの多い場所では入力およびスイッチの両端に 0.01～0.1 μF のセラミックコンデンサを取り付けてください。
  - リモート信号の入力は、メイク接点でおこなってください。
  - アラーム信号を入力する場合は、タイムラプス VCR の名称およびアラーム モードの有無は、メーカーにより異なりますのでタイムラプス VCR の取扱説明書をご参照ください。
  - アラーム時 VCR 記録モードが“NONE”に設定されている場合は、21(アラーム信号出力)端子をタイムラプス VCR のアラーム信号入力端子に接続しないでください。(15 ページ 2-8-2 . PATTERN 参照)

# 接続方法

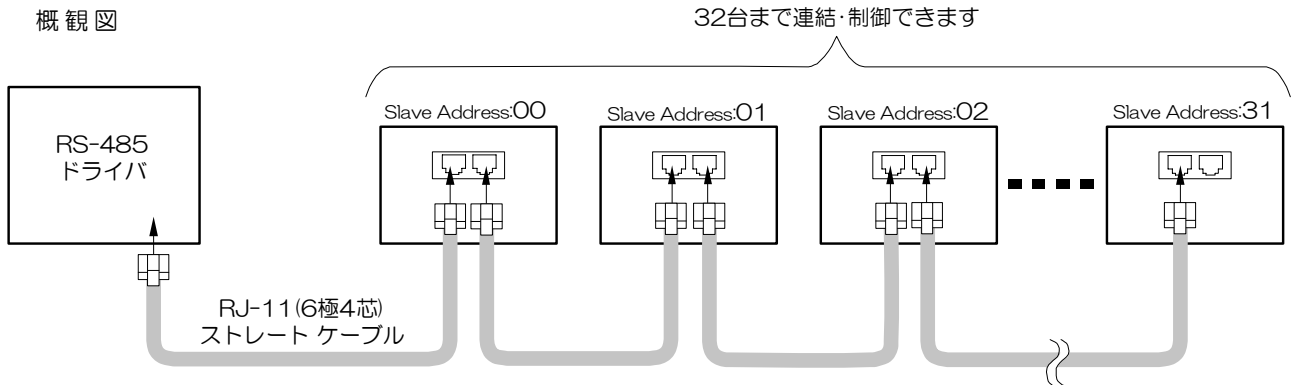
## ■ RS-485 の接続例

背面の RS-485 コネクタを使用して、コンピュータ等の制御機器からのコマンドにより操作や設定などのリモート制御をおこなうことができます。制御機器の RS-232C コネクタから送信されたコマンドは RS-485 ドライバを介して MCS-661 で受信されます。

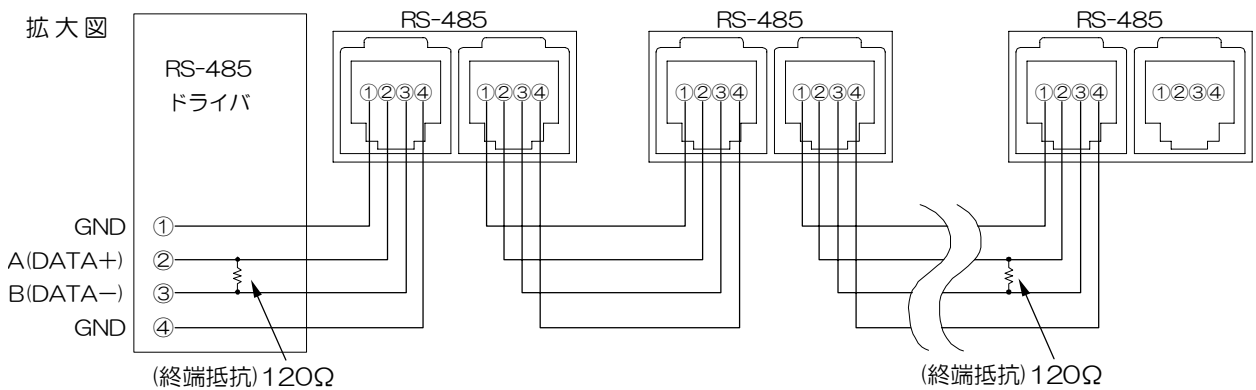
MCS-661 は下図のように 32 台まで接続し、スレーブ アドレスを設定することにより各々の MCS-661 を制御することができます。

ケーブルは RJ-11 ストレート ケーブルを使用し、最長 1,200 メートルまで対応できます。

概観図



※送受信の最初と最後の機器に、下の拡大図のように終端抵抗を取り付けてください。



※RS-485 コマンド リストについては弊社営業部までお問合せください。

※メニュー設定“9. OTHER”内“4. INTERFACE”内“2. SLAVE ADDRESS”で各 MCS-661 のスレーブ アドレスを設定してください。

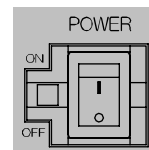
(22 ページ 9-4-2.SLAVE ADDRESS 参照)

# 基本動作

**操作上のご注意** ---この説明書をよくお読みになり、記載されていない意味のない操作、および乱暴な操作は絶対におこなわないでください。

## ■ 電源スイッチ ON/OFF

各種接続がしっかりおこなわれているかを確認してください。  
ACケーブルをコンセントにつなぎます。電源スイッチをONにしてください。  
このとき、出力から映像が出ていることを確認してください。



※デフォルト セット---MENU ボタンを押しながら電源をONにすると、モニタ画面左上部に“DEFAULT SET”の文字が点滅し、工場出荷時設定に戻ります。



※レジューム機能---電源スイッチをOFFにした時の画面を記憶し、次に電源スイッチをONにした時、同じ画面で立ち上がります。(ライブモード)

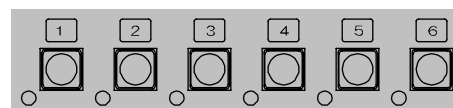
使用が終わったら電源スイッチをOFFにし、各LEDが消灯することを確認してください。

## ■ ライブモード

TVカメラの映像がリアルタイムでモニタに表示されている状態がライブモードです。

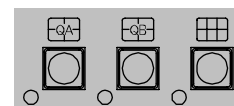
### ● 単画面表示

チャンネルセレクトボタン(1~6)を押すと、そのチャンネルが単画面でモニタに表示され、表示チャンネルのボタンのLEDが点灯します。



### ● 分割画面表示

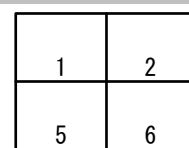
分割画面セレクトボタンを押すと、各チャンネルが分割表示されます。表示中の分割画面に対応するボタンのLEDが点灯します。



※タイトルは全画面8文字表示します。

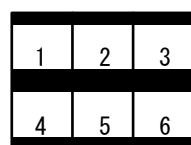


QA

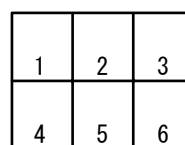


QB

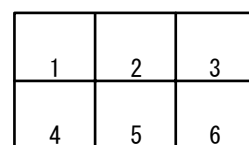
6分割画面はメニュー設定でNORMAL/WIDEを選択できます。  
(22ページ 9-8.DIVISION 6 参照)  
WIDEの設定にすると、各画像が横方向に圧縮されます。  
4:3 モニタ …約 70% 圧縮  
16:9 モニタ …約 90% 圧縮



6分割(NORMAL)  
4:3モニタ



6分割(WIDE)  
4:3モニタ



6分割(WIDE)  
16:9モニタ

### ● 自動切換え(オートシーケンス)

- ・単画面表示中にAUTOボタンを押すと単画面がチャンネル 1→2→3→4→5→6→1→2→…と自動で切換わります。
- ・分割画面表示中にAUTOボタンを押すと分割画面が4分割A→4分割B→6分割→4分割A→…と自動で切換わります。
- ・特定のチャンネルや分割画面をスキップすることもできます。(19ページ 6.画面表示の設定 参照)
- ・切換え時間を1~999(秒)の間で設定することができます。(19ページ 6-4.AUTO SEQ. TIME 参照)



## 基本動作

### ■ VCR 録画

6 ページのシステム例を参照し、VCR と接続します。

メニュー設定 “2. ALARM” 内 “8. RECORD” 内で録画の各種設定をおこなってください。  
(15 ページ **2-8.RECORD MODE** 参照)

本機がライブ モードであることを確認し、VCR の録画開始操作をおこなってください。

※録画の最中には、LIVE ボタンを 2 秒以上長押しして、VCR バイパス出力で VCR および本機で設定したとおりの出力になっていることを確認してください。

※試し録画をした VCR を再生して、映像がきちんと録画されていることを確認してください。

- 注意
- 使用するタイム ラプス VCR の設定が、オーディオ信号を同時に記録するモード (A12H, A24H 等) では使用できません。
  - 古いビデオ テープで録画した場合、映像が正確に再生されないことがあります。

### ■ VCR 再生

ライブ モード時に、VCR 機器を再生状態にして PLAYBACK ボタンを押すと、プレイバック モードになり再生映像が表示されます。



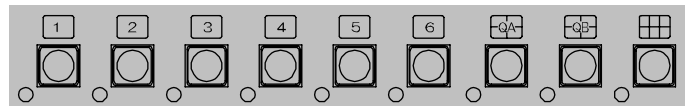
#### ● フリーズ

プレイバック モード時に PLAYBACK FREEZE ボタンを押すと、再生映像が静止し、画面右上に “FREEZE” の文字が点滅します。もう一度 PLAYBACK FREEZE ボタンを押すと静止が解除されます。

フリーズ中は PLAYBACK FREEZE ボタン以外のボタンは操作できません。

#### ● チャンネル表示

チャンネル セレクト ボタン (1~6) および分割画面セレクトボタンを押すと、単画面 1~6 や各種分割画面を再生表示します。



※再生映像の自動切換え (オート シークエンス) 表示はできません。



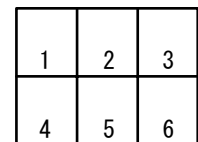
単画面



QA



QB



6分割

#### ● ライブ モードに戻る

LIVE ボタンを押すとライブ モードに戻ります。



- 注意
- VCR 再生時、録画映像が正確に再生できない場合は、VCR のトラッキングを再調整してみてください。
  - 接続する TV モニタによっては、再生映像を分割画面で見るとタイトル文字が読みにくいことがあります。
  - VCR 録画中にタイム ラプス VCR がアラーム状態となり、録画時間モードが変化したところを再生したときや、再生時に早送り・巻き戻し操作をしたときは、再生画面が乱れることがあります。気になるときは、もう一度チャンネルセレクト ボタンを押してみてください。
  - 録画中にアラーム信号が入力・解除されたところを再生すると、VCR のノイズにより他のチャンネルに画像が飛び込んだりすることがあります。

### ■ VCR バイパス出力

VCR 入力映像をモニタに直接表示させる場合は、ライブ モード時に LIVE ボタンを 2 秒以上長押しします。ライブ モードに戻るには、AUTO、チャンネル セレクト、分割画面セレクト ボタンのいずれかを押します。

VCR バイパス出力を使用する目的として次の場合があります。

- ・本機を使用して録画した再生映像をチャンネル識別等せず直接モニタに表示させる (録画の確認)
- ・本機以外で録画した再生映像 (映画や通常のビデオ等) をモニタに表示させる
- ・接続されている VCR 機器の設定画面をモニタに表示させる

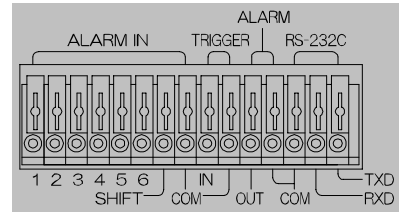


# 基本動作

## ■ アラーム入出力

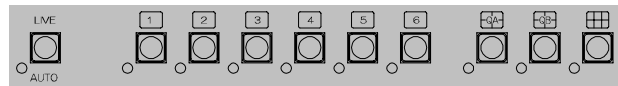
ALARM IN 1～6 端子にセンサ等の信号が入ると、そのチャンネルが単画面表示となり、画面左下に“ALARM”の文字が表示されます。

信号の入力はアラーム イベントに記録されます。  
(13 ページ **1.アラーム イベント記録** 参照)



アラーム動作中は、ALARM OUT 端子から信号を出力します。  
(オープン コレクタ DC12V 100mA 以下)  
(14 ページ **2-7.SIGNAL OUT** 参照)

アラーム保持時間中に、AUTO、チャンネルセレクト、分割画面セレクト ボタンのいずれかを押し、押したボタンの画面表示になり、アラーム動作は解除されます。



※メニュー設定“9. OTHER”内の“5. REMOTE IN”が“ALARM”に設定されていることをご確認ください。(22 ページ **9-5.REMOTE IN** 参照)

※メニュー設定“2. ALARM”内でアラームの詳細な設定をおこなってください。  
(13～15 ページ **2.アラームの設定** 参照)

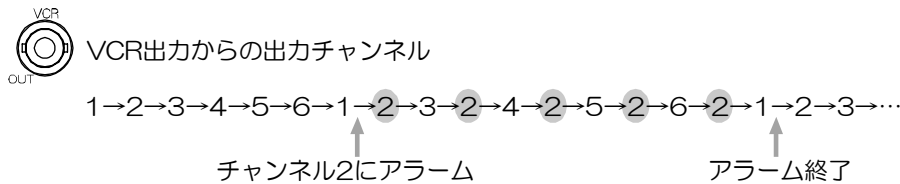
**注意** ●メニュー表示中はアラームを受け付けません。

## ■ インターリーブ

メニュー設定“2. ALARM”内“8. RECORD MODE”内“3. INTERLEAVE”が“ON”に設定されていると、アラーム入力時にインターリーブ動作をおこないます。

(15 ページ **2-8-3.INTERLEAVE** 参照)

インターリーブ動作とは、下図のようにアラーム入力のあったチャンネルが高密度で録画されるものです。



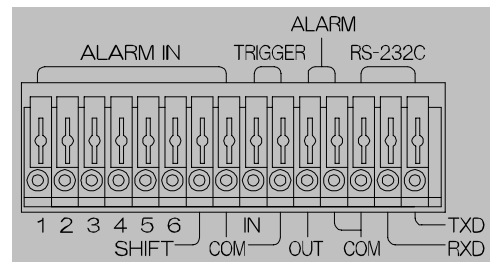
## ■ リモート操作

背面の端子台の ALARM IN 端子への入力によって、下表のリモート操作ができます。

(7 ページ **■端子台の接続** 参照)

SHIFT 端子と 1～6 端子を組合せると分割画面表示や自動切換え表示、VCR 再生表示などができます。

※メニュー設定“9. OTHER”内の“5. REMOTE IN”で“REMOTE”を選択してください。  
(22 ページ **9-5.REMOTE IN** 参照)

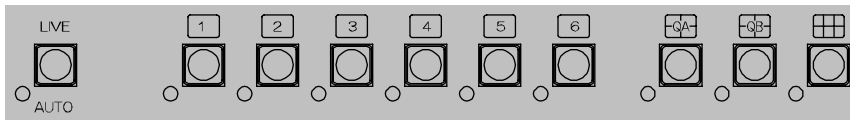


※1～6 に単独で入力すると 1～6 の単画面表示となり、SHIFT と 1～6 を同時に入力すると、分割画面表示や各種動作をおこないます。

端子表記		機能	
上側	下側		
ALARM IN	1	単画面 1 表示	+SHIFT：4 分割 QA 表示
	2	単画面 2 表示	+SHIFT：4 分割 QB 表示
	3	単画面 3 表示	+SHIFT：6 分割表示
	4	単画面 4 表示	+SHIFT：自動切換え、ライブ
	5	単画面 5 表示	+SHIFT：再生、フリーズ
	6	単画面 6 表示	
	SHIFT	SHIFT	
COM	COMMON		

# 基本動作

## ■ ボタン ロック



ライブ モード時に、オート シーケンス画面,1~6 単画面,各分割画面のいずれかロックしたい画面のボタンを 4 秒以内の間隔で 10 回連続して押します。

画面右上部に “Lock” の文字が 2 秒間表示され、そのボタンの画面表示および機能がロックされます。

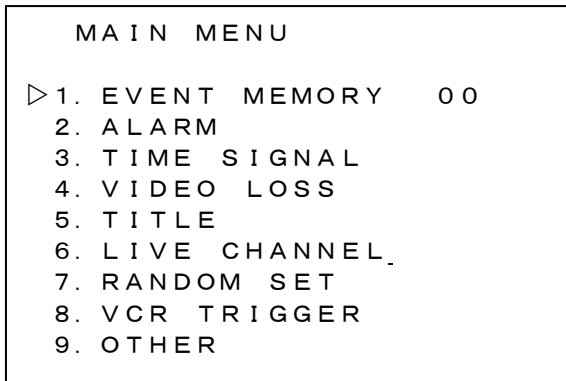
ロック中にボタン操作をすると、画面右上部に “Lock” の文字が 2 秒間表示されます。

ロックを解除するには、ロックしたボタンを 4 秒以内の間隔で 10 回連続して押します。解除されると画面右上部に “UN LOCK” の文字が 2 秒間表示されます。

# メニュー設定

## ■ メニュー表示

MENU ボタンを押すと MAIN MENU 画面が表示されます。



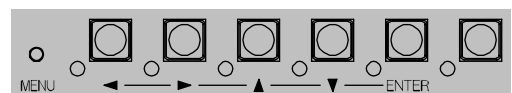
- 1.アラーム イベント記録
- 2.アラームの設定
- 3.日時の設定
- 4.ビデオ ロスの設定
- 5.タイトルの設定
- 6.画面表示の設定
- 7.ランダム画面の設定
- 8.VCRトリガの設定
- 9.その他の設定

- 注意 ●メニュー表示中はアラームを受け付けません。  
●ロック中はメニュー画面を表示できません。

## ■ メニューの操作方法

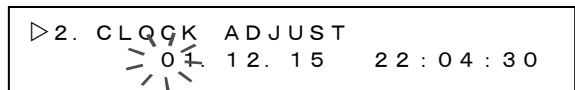
### ● 設定したい項目を選ぶとき

▲,▼ボタンで設定したい項目にカーソル(▷)を合わせ、ENTER ボタンを押すと、サブ メニュー画面が表示されるか、設定値が点滅します。



### ● 設定値を変更したいとき

◀,▶ボタンで点滅を移動させ、▲,▼ボタンで値を変更します。すべての値を変更したら最後に ENTER ボタンを押します。

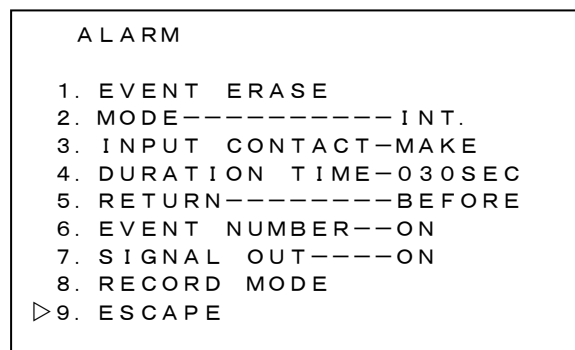


### ● 前のメニューに戻りたいとき

▲,▼ボタンで各サブ メニューの “ESCAPE” の項目にカーソル(▷)を合わせ、ENTER ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

### ● メニューを終了してライブ モードに戻りたいとき

“ESCAPE”の項目により MAIN MENU に戻り、そこで MENU ボタンを押すとライブ モードに戻ります。



※設定値が点滅中は、カーソル(▷)の移動や MENU ボタンは操作できません。

# メニュー設定

## 1. アラーム イベント記録 (EVENT MEMORY)

- アラーム イベント件数  
MAIN MENU 画面の  
“ 1. EVENT MEMORY \*\* ” の \*\* には  
アラーム イベントに記録されている件数を表示  
します。  
※工場出荷時設定 00

MAIN MENU	
▷ 1.	EVENT MEMORY 00
2.	ALARM
3.	TIME SIGNAL
4.	VIDEO LOSS
5.	TITLE
6.	LIVE CHANNEL..
7.	RANDOM SET
8.	VCR TRIGGER
9.	OTHER

- アラーム イベント記録  
“ 1. EVENT MEMORY \*\* ” にカーソル (▷)  
を合わせて ENTER ボタンを押すと ALARM  
EVENT 画面 (右図) が表示されます。この画面  
にはアラームの記録 (イベント番号, チャンネル,  
タイトル, 日付, 時刻) が表示されます。

ALARM NO.	EVENT CH.	EVENT DATE	PAGE 01 TIME
01	01	CH01	
		05. 12. 01	06:00:55
02	01	CH01	
		05. 12. 12	08:44:23
03	04	CH04	
		05. 12. 12	23:59:07
04	01	CH01	
		05. 12. 20	21:25:43
05	02	CH02	
		05. 12. 31	23:33:21

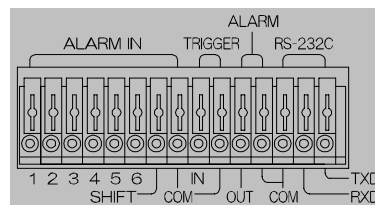
記録は PAGE01~PAGE20 (右上表示) まで 5  
件ずつ最大 100 件まで記録されます。PAGE  
を進めたり戻したりするには ◀, ▶ ボタンを押  
します。アラームが 100 件を越えると、古い記  
録から消去されます。

MAIN MENU 画面に戻るには、ENTER ボタン  
を押します。

- 注意
- イベント記録 100 件目からは、MAIN MENU 画面の “ 1. EVENT MEMORY \*\* ” の \*\* に “ FULL ” という文字を表示します。
  - 101 件目からのアラームは、イベント記録 100 件目に挿入していきます。1 件目のデータは消去され、2 件目のデータが 1 件目に移動します。
  - タイトルを途中で変更すると、アラーム履歴に記録していたそのチャンネルのタイトルも変更されます。
  - イベント記録は、デフォルト セットをおこなうと、すべて消去されます。
  - イベント記録が 100 件を超えると、画面左上部に “ FULL ” という文字が点滅します。EVENT ERASE をおこなうか、デフォルト セットをおこなわない限り、この点滅は消えません。

## 2. アラームの設定 (ALARM)

背面端子台の ALARM IN1~6 にセンサ等の信号が入力されたときの、アラーム動作および表示の設定をおこないます。モニタ映像出力は、アラーム入力のあったチャンネルを単画面で表示します。



- ※メニュー設定 “ 9. OTHER ” 内の  
“ 5. REMOTE IN ” が “ ALARM ” に設定さ  
れていることをご確認ください。  
(22 ページ 9-5.REMOTE IN 参照)

### 2-1. EVENT ERASE

MAIN MENU の “ 1. EVENT MEMORY ” の  
記録を消去します。

値	動作
NO	消去しない
YES	消去する

ALARM	
▷ 1.	EVENT ERASE
2.	MODE-----INT.
3.	INPUT CONTACT-MAKE
4.	DURATION TIME-030SEC
5.	RETURN-----BEFORE
6.	EVENT NUMBER--ON
7.	SIGNAL OUT----ON
8.	RECORD MODE
9.	ESCAPE

# メニュー設定

## 2-2.MODE

アラーム動作の保持モードを設定します。

値	動作
INT.	“4. DURATION TIME”で設定した時間、アラーム動作を保持する
EXT.	信号が入力されている間、アラーム動作を保持する

※工場出荷時設定 INT.

### ALARM

1. EVENT ERASE
- ▷ 2. MODE-----INT.
3. INPUT CONTACT-MAKE
4. DURATION TIME-030SEC
5. RETURN-----BEFORE
6. EVENT NUMBER--ON
7. SIGNAL OUT----ON
8. RECORD MODE
9. ESCAPE

## 2-3.INPUT CONTACT

センサの検出接点を設定します。

“2. MODE”が“INT.”のとき有効です。

値	動作
MAKE	センサ等が閉じたとき(立下りエッジ)で検出する
BREAK	センサ等が開いたとき(立上りエッジ)で検出する

※工場出荷時設定 MAKE

## 2-4.DURATION TIME

アラーム動作の保持時間を設定します。(001~999 秒)

“2. MODE”が“INT.”のとき有効です。

※工場出荷時設定 030(秒)

## 2-5.RETURN

アラーム動作解除後のモニタ表示を設定します。

値	動作
BEFORE	アラーム以前の状態に戻る
FIX	アラーム入力のあったチャンネルをそのまま表示する

※工場出荷時設定 BEFORE

## 2-6.EVENT NUMBER

アラーム動作中のイベント番号の表示を設定します。

値	動作
ON	画面左下に“ALARM**”と表示 ※**はイベント番号です。 ※イベント番号 100 件目からは“-F”という文字を表示します。
OFF	画面左下に“ALARM”と表示 ※アラーム イベントには記録されません。

※工場出荷時設定 ON

## 2-7.SIGNAL OUT

アラーム動作中、背面端子台の ALARM OUT からの出力を設定します。

値	動作
ON	ALARM OUT から信号を出力します。
OFF	ALARM OUT から信号を出力しません。

※オープン コレクタ DC12V 100mA 以下

※工場出荷時設定 ON



# メニュー設定

## 2-8.RECORD MODE

### 2-8-1.MODEL ID

接続する録画機器を設定します。

値	動作
VCR	タイム ラプス VCR 等を使用する
DVR	ハード ディスク レコーダ等のデジタル録画機器を使用する。

※VCR モードで録画されたものは、DVR モードで再生することができますが、DVR モードで録画されたものは、VCR モードで再生することはできません。

※工場出荷時設定 VCR

ALARM	
1. EVENT ERASE	
2. MODE-----INT.	
3. INPUT CONTACT-MAKE	
4. DURATION TIME-030SEC	
5. RETURN-----BEFORE	
6. EVENT NUMBER--ON	
7. SIGNAL OUT----ON	
▷8. RECORD MODE	
9. ESCAPE	

### 2-8-2.PATTERN

アラーム入力時の VCR 映像出力の切換えパターンを設定します。

値	動作
NONE	変化なし
FIX	複数のチャンネルにアラーム入力があった場合は、後のチャンネルを優先し出力する
VCR2H	1/30 切換え出力する ※“1. MODEL ID”が“DVR”のときは、設定できません

※工場出荷時設定 NONE

ALARM RECORD MODE	
▷1. MODEL ID-----VCR	
2. PATTERN-----NONE	
3. INTERLEAVE----OFF	
4. ESCAPE	

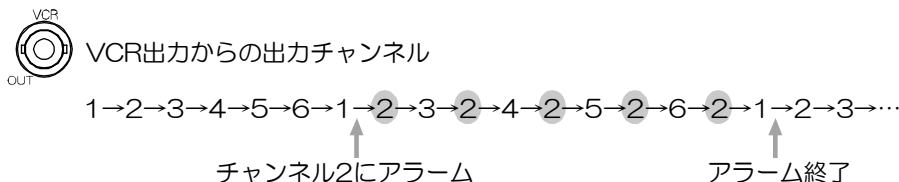
### 2-8-3.INTERLEAVE

アラーム入力のあったチャンネルを高密度に録画する動作(インターリーブ)を設定します。

値	動作
ON	高密度録画(インターリーブ)する
OFF	高密度録画(インターリーブ)しない

※工場出荷時設定 OFF

※インターリーブ動作例



## 3.日時の設定(TIME SIGNAL)

日付,時計の設定をおこないます。

### 3-1.30SEC.ADJUST

時計の30秒補正です。

“2. CLOCK ADJUST”の秒の値が0~29秒の間に ENTER ボタンを押すと、現在の時刻で秒が00となり、30~59秒の間に ENTER ボタンを押すと1分進み00秒となります。

※メニュー画面を表示させなくても、ライブモード中に時刻の30秒補正をすることができます。

チャンネル セレクト ボタンの1と6を同時に押すと、時刻の秒の値が00となります。

TIME SIGNAL	
▷1. 30SEC. ADJUST	
2. CLOCK ADJUST	
01. 12. 15 22:04:30	
3. DISPLAY-----Y. M. D	
4. MONITOR FULL--ON	
5. MONITOR MULTI--ON	
6. VCR OUTPUT----ON	
7. ESCAPE	



# メニュー設定

## 3-2.CLOCK ADJUST

日付・時刻の設定をおこないます。  
 カーソル(▷)で選択し ENTER ボタンを押すと左端の値から点滅します。◀,▶ボタンで点滅を移動させ、▲,▼ボタンで値を変更します。  
 ENTER ボタンを押すと日付・時刻が決定します。

```

TIME SIGNAL
1. 30SEC. ADJUST
▷2. CLOCK ADJUST
   12.15  22:04:30
3. DISPLAY-----Y. M. D
4. MONITOR FULL--ON
5. MONITOR MULTI-ON
6. VCR OUTPUT----ON
7. ESCAPE
    
```

## 3-3.DISPLAY

日付の表示方式を設定します。

値	表示
Y.M.D	年.月.日
M-D-Y	月-日-年
D/M/Y	日/月/年

※工場出荷時設定 Y.M.D

## 3-4.MONITOR FULL

単画面への日付・時刻の表示/非表示を設定します。

値	表示
ON	単画面に日付・時刻を表示する
OFF	単画面に日付・時刻を表示しない

※工場出荷時設定 ON

## 3-5.MONITOR MULTI

分割画面への日付・時刻の表示/非表示を設定します。

値	表示
ON	分割画面に日付・時刻を表示する
OFF	分割画面に日付・時刻を表示しない

※工場出荷時設定 ON

## 3-6.VCR OUTPUT

VCR出力への日付・時刻の表示/非表示を設定します。

値	表示
ON	VCR出力に日付・時刻を表示する
OFF	VCR出力に日付・時刻を表示しない

※工場出荷時設定 ON

## 4.ビデオロスの設定 (VIDEO LOSS)

メニュー設定 “6. LIVE CHANNEL” 内の “3. VCR” 内の LIVE に設定されたチャンネルの入力映像がなくなったとき、ビデオロス状態となります。  
 (19ページ 6-3.VCR 参照)

```

VIDEO LOSS
▷1. MONITOR OUT---ON
2. VCR OUT-----ON
3. SIGNAL OUT----OFF
4. ESCAPE
    
```

### 4-1.MONITOR OUT

モニタ出力にビデオロスの表示/非表示を設定します。

値	表示
ON	モニタ出力の画面中央上にビデオロス表示をする
OFF	モニタ出力にビデオロス表示をしない

※工場出荷時設定 ON

### 4-2.VCR OUT

VCR出力にビデオロスの表示/非表示を設定します。

値	表示
ON	VCR出力の画面右上にビデオロス表示をする
OFF	VCR出力にビデオロス表示をしない

※工場出荷時設定 ON

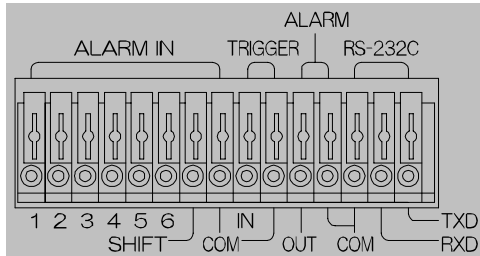
# メニュー設定

## 4-3.SIGNAL OUT

ビデオ ロス時、背面端子台の ALARM OUT 端子からの信号出力を設定します。

値	表示
ON	ビデオ ロス時信号を出力する
OFF	ビデオ ロス時信号を出力しない

※工場出荷時設定 OFF



VIDEO LOSS

- ▷ 1. MONITOR OUT---ON
- 2. VCR OUT-----ON
- 3. SIGNAL OUT----OFF
- 4. ESCAPE

## 5.タイトルの設定(TITLE)

各チャンネルのタイトル設定をおこないます。

### 5-1.SET SELECT

各チャンネルのタイトル文字の入力をします。  
各チャンネル 8 文字まで入力できます。  
※工場出荷時設定 “CH01” ~ “CH06”

- ① TITLE 画面で “1. SET SELECT” を選択すると、TITLE SET SELECT 画面が表示されます。
- ② TITLE SET SELECT 画面で、タイトル設定をおこないたいチャンネル (01~06) を選択すると、TITLE SET 画面が表示されます。
- ③ 右下の図で上から 2 行目 “■■CH01■■” の部分が文字入力範囲 (8 文字) で、左端が点滅しています。  
“■” で表示されているところはスペースです。
- ④ ◀, ▶ ボタンで点滅を移動させ、入力したい場所で ENTER ボタンを押すと、下の文字一覧の同じ文字が点滅します。
- ⑤ 文字一覧内の点滅を ◀, ▶, ▲, ▼ ボタンで移動させ、入力したい文字で ENTER ボタンを押すと、2 行目の文字入力範囲に入力されます。スペースの入力は “o” の左側や “A” の右側などで ENTER ボタンを押します。
- ⑥ ④と⑤を繰り返して文字を入力します。
- ⑦ 最後に 2 行目 “■■CH01■■” の右端へ点滅を移動させると “←” が表示されますので、そこで ENTER ボタンを押すと、前の TITLE SET SELECT 画面に戻ります。
- ⑧ 他のチャンネルも②~⑦を繰り返して入力します。

TITLE

- ▷ 1. SET SELECT
- 2. POSITION SELECT
- 3. MONITOR FULL--ON
- 4. MONITOR MULTI--ON
- 5. VCR OUTPUT----ON
- 6. ESCAPE

TITLE SET SELECT

CH.	
▷ 01	CH01
02	CH02
03	CH03
04	CH04
05	CH05
06	CH06
	ESCAPE

TITLE SET

CHANNEL 01    ■■CH01■■←

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A	アイウエオカキクケコ
B C D E F G H I J K L	サシスセソタチツテト
M N O P Q R S T U V W	ナニヌネノハヒフヘホ
X Y Z a b c d e f g h	マミムメモヤエユエヨ
i j k l m n o p q r s	ラリルレロワンアオツ
t u v w x y z - / < >	ヤユヨ ° ~ : . ▷

# メニュー設定

## 5-2.POSITION SELECT

各チャンネル単画面のタイトル文字の位置を設定します。

- ① TITLE 画面で“ 2. POSITION SELECT”を選択すると、TITLE POSITION SELECT 画面が表示されます。
- ② TITLE POSITION SELECT 画面で、タイトル位置設定をおこないたいチャンネル(01～06)を選択すると、TITLE POSITION 画面(例)が表示されます。
- ③ ◀,▶,▲,▼ボタンで点滅しているタイトル(右図では“CH01”)を移動させ、タイトルを表示させたい位置で決定ボタンを押すと、TITLE POSITION SELECT 画面に戻ります。

※ “FULL”, “CHANNEL01”, “FREEZE”, “ALARM01” はタイトルと重ならないように表示されています。

- ④ 他のチャンネルも②と③を繰り返して設定します。

※工場出荷時設定 中央下部


```

TITLE POSITION SELECT
CH.
▷01    CH01
02    CH02
03    CH03
04    CH04
05    CH05
06    CH06
ESCAPE
    
```

```

TITLE POSITION
FULL    CHANNEL01    FREEZE

ALARM01    CH01
    
```



## 5-3.MONITOR FULL

モニタ映像出力の単画面へのタイトルの表示/非表示を設定します。

値	動作
ON	単画面にタイトルを表示する
OFF	単画面にタイトルを表示しない

※工場出荷時設定 ON  
 ※タイトル表示位置は移動できます。  
 (5-2.POSITION SELECT 参照)

```

TITLE
1. SET SELECT
2. POSITION SELECT
▷3. MONITOR FULL----ON
4. MONITOR MULTI--ON
5. VCR OUTPUT-----ON
6. ESCAPE
    
```

## 5-4.MONITOR MULTI

モニタ映像出力の分割画面へのタイトルの表示/非表示を設定します。

値	動作
ON	分割画面にタイトルを表示する
OFF	分割画面にタイトルを表示しない

※工場出荷時設定 ON

## 5-5.VCR OUTPUT

VCR 出力へのタイトルの表示/非表示を設定します。

値	動作
ON	VCR 出力にタイトルを表示する
OFF	VCR 出力にタイトルを表示しない

※工場出荷時設定 ON

# メニュー設定

6.画面表示の設定(LIVE CHANNEL)  
オート シーケンス動作に関する設定をおこな  
います。

## 6-1.MONITOR

単画面のオート シーケンス動作時の各チャ  
ンネル映像の表示/スキップを設定します。

値	動作
LIVE	そのチャンネル映像を表示する
SKIP	そのチャンネル映像をスキップする

※工場出荷時設定 CHO1~CHO6 : LIVE

※映像入力のないチャンネルはかならず  
SKIP に設定してください。

※すべてのチャンネルを SKIP にすること  
はできません。

## 6-2.SEQUENCE MULTI

分割画面のオート シーケンス動作時の各分  
割画面映像の表示/スキップを設定します。

値	動作
LIVE	その分割画面を表示する
SKIP	その分割画面をスキップする

※工場出荷時設定 4分割 A,B: LIVE  
9分割 : SKIP

※すべての分割画面を SKIP にすること  
はできません。

## 6-3.VCR

VCR 出力の各チャンネル映像の出力/スキッ  
プを設定します。

値	動作
LIVE	そのチャンネル映像を VCR 出力する
SKIP	そのチャンネル映像をスキップする

※工場出荷時設定 CHO1~CHO6: LIVE

※映像入力のないチャンネルはかならず  
SKIP に設定してください。

※すべてのチャンネルを SKIP することはできません。

※LIVE に設定したチャンネルの映像入力がなくなるとビデオ ロスとなります。  
(16 ページ 4.ビデオ ロスの設定 参照)

## 6-4.AUTO SEQ. TIME

オート シーケンス動作の画面切換え時間を  
設定します。

001~999(秒)から選択します。

※工場出荷時設定 003(秒)

### LIVE CHANNEL

- ▷1. MONITOR
- 2. SEQUENCE MULTI
- 3. VCR
- 4. AUTO SEQ. TIME-003SEC.
- 5. ESCAPE

### LIVE CHANNEL MONITOR CH.

- ▷01 LIVE
- 02 LIVE
- 03 LIVE
- 04 LIVE
- 05 LIVE
- 06 LIVE
- ESCAPE

### LIVE CHANNEL SEQ. MULTI

- ▷4A LIVE
- 4B LIVE
- D6 SKIP
- ESCAPE

### LIVE CHANNEL VCR CH.

- ▷01 LIVE
- 02 LIVE
- 03 LIVE
- 04 LIVE
- 05 LIVE
- 06 LIVE
- ESCAPE

### LIVE CHANNEL VCR CH.

- ▷01 LIVE
- 02 LIVE
- 03 LIVE
- 04 LIVE
- 05 LIVE
- 06 LIVE
- ESCAPE

# メニュー設定

## 7. ランダム画面の設定 (RANDOM SET)

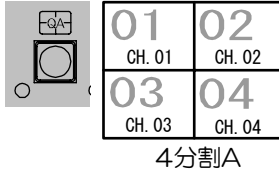
各分割画面に各チャンネルの表示位置を設定します。  
 ※同じチャンネルを2つ以上設定することはできません。

```

RANDOM SET
▷ 1. 4A
   2. 4B
   3. D6
   4. ESCAPE
    
```

### 7-1.4A

4分割Aの設定をします。  
 01~04のそれぞれの位置に表示するチャンネルを設定します。



4分割A

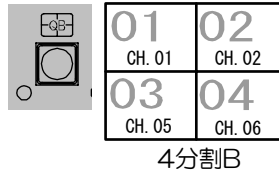
※工場出荷時設定  
 01~04に対してCH.01~CH.04

```

RANDOM SET 4A
▷ 01 CH. 01
   02 CH. 02
   03 CH. 03
   04 CH. 04
   ESCAPE
    
```

### 7-2.4B

4分割Bの設定をします。  
 01~04のそれぞれの位置に表示するチャンネルを設定します。



4分割B

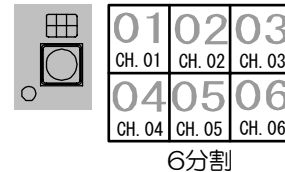
※工場出荷時設定  
 01~04に対してCH.01,CH.02,CH.05,CH.06

```

RANDOM SET 4B
▷ 01 CH. 01
   02 CH. 02
   03 CH. 05
   04 CH. 06
   ESCAPE
    
```

### 7-3.D6

6分割の設定をします。  
 01~06のそれぞれの位置に表示するチャンネルを設定します。



6分割

※工場出荷時設定  
 01~06に対してCH.01~CH.06

```

RANDOM SET D6
▷ 01 CH. 01
   02 CH. 02
   03 CH. 03
   04 CH. 04
   05 CH. 05
   06 CH. 06
   ESCAPE
    
```

## 8. VCRトリガの設定 (VCR TRIGGER)

録画機器からのトリガ信号入力の設定です。

### 8-1.MODE

トリガ入力信号に対するVCR出力の切換えタイミングを設定します。

値	動作
LOW	トリガ信号の立下りで切換え
HIGH	トリガ信号の立上りで切換え
OFF	トリガ信号を受け付けない

※工場出荷時設定 LOW

```

VCR TRIGGER
▷ 1. MODE-----LOW
   2. FIELD-----002
                        33.37mSEC.
   3. ESCAPE
    
```

### 8-2.FIELD

マニュアルでVCR出力の切換えタイミングを設定します。(002~999)

“1. MODE”が“OFF”のとき設定が有効です。

※工場出荷時設定 002

# メニュー設定

## 9.その他の設定 (OTHER)

### 9-1.PASSWORD

パスワードにより操作を許可する設定にすることができます。  
パスワードの入力方法については、23 ページをご参照ください。

#### 9-1-1.OPERATION

フロント ボタン(MENU ボタン以外)を操作するときのパスワード設定です。

値	動作
ON	パスワード必要
OFF	パスワード不必要

工場出荷時設定 OFF

#### 9-1-2.MENU

MENU ボタンを操作するときのパスワード設定です。

値	動作
ON	パスワード必要
OFF	パスワード不必要

工場出荷時設定 OFF

#### 9-1-3.NUMBER

パスワードの値を設定します。  
111111 から 666666 までの 6ケタの数字を使うことができます。  
◀,▶ボタンで点滅を移動させ、▲,▼ボタンで値を変更してください。  
工場出荷時設定 111111

### 9-2.CAMERA SELECT

各チャンネルのカメラ タイプを設定します。

値	設定
COLOR	カラー カメラ使用時
MONOCHROME	モノクロ カメラ使用時

工場出荷時設定 COLOR

### 9-3.MONITOR COLOR

ライブ モード時の各チャンネルのモニタのカラー レベルや輝度を調整することができます。

#### 9-3-1.LEVEL

各チャンネルのカラー レベルの調整をおこないます。  
00~31 の値を選択します。

#### 9-3-2.CONTRAST

各チャンネルの輝度の調整をおこないます。  
00~31 の値を選択します。

#### OTHER

- ▷ 1. PASSWORD
- 2. CAMERA SELECT
- 3. MONITOR COLOR
- 4. INTERFACE
- 5. REMOTE IN-----ALARM
- 6. BORDER LINE---OFF
- 7. SPOT MONITOR--CH. 01
- 8. DIVISION 6----WIDE
- 9. ESCAPE

#### PASSWORD

- ▷ 1. OPERATION-----OFF
- 2. MENU-----OFF
- 3. NUMBER-----111111
- 4. ESCAPE

#### CAMERA SELECT

- CH.
- ▷ 01 COLOR
- 02 COLOR
- 03 COLOR
- 04 COLOR
- 05 COLOR
- 06 COLOR
- ESCAPE

#### MONITOR COLOR

- ▷ 1. LEVEL
- 2. CONTRAST
- 3. ESCAPE

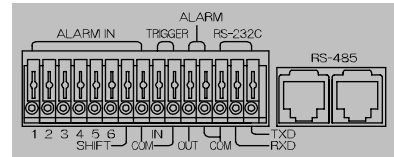
#### MONITOR COLOR LEVEL

- CH.
- ▷ 01 00
- 02 00
- 03 00
- 04 00
- 05 00
- 06 00
- ESCAPE

# メニュー設定

## 9-4.INTERFACE

RS-232C や RS-485 などの外部制御信号入力に関する設定です。



### 9-4-1.DATA RATE

RS-232C および RS-485 のデータ レートを設定します。

1200/2400/4800/9600(bps)より選択します。

工場出荷時設定 9600(bps)

### 9-4-2.SLAVE ADDRESS

RS-485 使用時のスレーブ アドレス(号機)を設定します。

値	設定
OFF	RS-232C 使用時
00~31	RS-485 使用時の号機設定

工場出荷時設定 OFF

#### INTERFACE

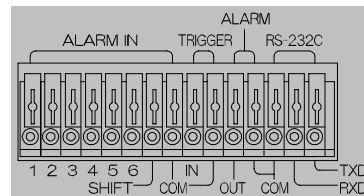
- ▷ 1. DATA RATE-----9600bps
- 2. SLAVE ADDRESS-OFF
- 3. ESCAPE

## 9-5.REMOTE IN

背面の外部信号入出力端子 1~6 の設定です。

値	設定
ALARM	アラーム入力として使用する場合
REMOTE	リモート入力として使用する場合

※工場出荷時設定 ALARM



## 9-6.BORDER LINE

分割画面時のボーダーライン(境界線)の設定です。

値	動作
OFF	ボーダーラインを表示しない
BLACK	黒のボーダーラインを表示する
WHITE	白のボーダーラインを表示する

※工場出荷時設定 OFF

#### OTHER

- 1. PASSWORD
- 2. CAMERA SELECT
- 3. MONITOR COLOR
- 4. INTERFACE
- 5. REMOTE IN-----ALARM
- ▷ 6. BORDER LINE---OFF
- 7. SPOT MONITOR--CH. 01
- 8. DIVISION 6-----WIDE
- 9. ESCAPE

## 9-7.SPOT MONITOR

スポット映像出力端子の出力チャンネルを設定します。

CH.01~CH.06 から選択してください。

※スポット映像は設定されたチャンネルのライブ モードのみ表示されます。

※スポット映像にタイトルは表示されません。

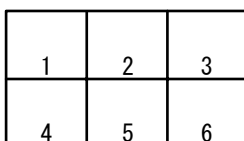
※工場出荷時設定 CH.01

## 9-8.DIVISION 6

6 分割画面の表示を設定します。

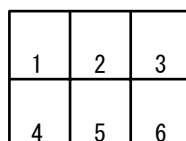
値	動作
WIDE	ワイド モニタ(16:9)用の表示をする
NORMAL	通常のモニタ(4:3)用の表示をする

※工場出荷時設定 WIDE



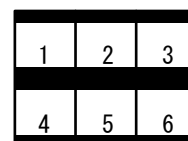
6分割(WIDE)  
16:9モニタ

各映像は横方向約 90%  
に圧縮されます



6分割(WIDE)  
4:3モニタ

各映像は横方向約 70%  
に圧縮されます



6分割(NORMAL)  
4:3モニタ

各映像は 4:3 表示で余った  
部分は黒表示となります

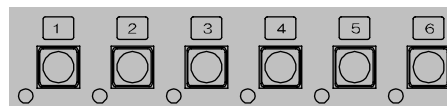


## パスワードの入力方法

パスワードによってロックされているボタンを押すと、6 ケタのパスワード入力画面が表示されます。

チャンネル セレクト ボタン 1~6 であらかじめ設定された 6 ケタのパスワードを入力してください。

パスワードが正しければそのボタンの動作をおこない、間違っていればそのボタンを受け付けず、元の状態に戻ります。

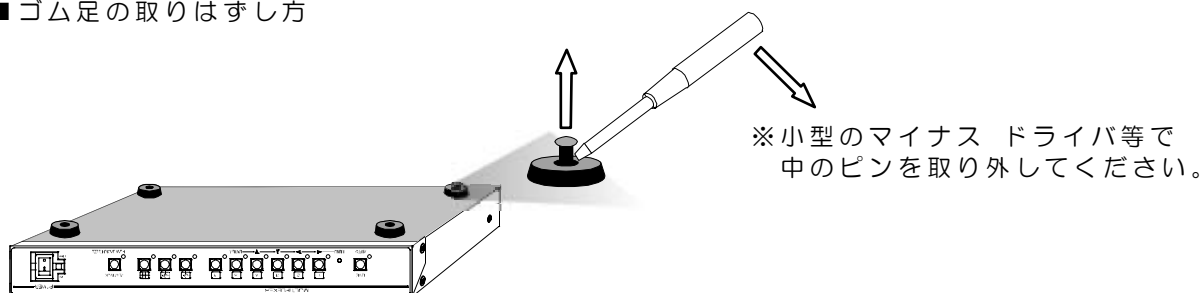


※パスワードの設定・解除方法については、21 ページ 9-1.PASSWORD をご参照ください。

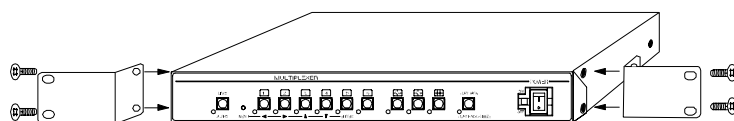
## ラックマウント方法

MCS-661 は 19 インチ ラック (JIS/EIA) に据え付けてご使用いただけます。  
ラック マウント キットはオプションです。次ページの製品仕様もご覧ください。

### ■ ゴム足の取りはずし方



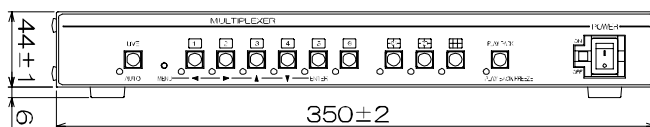
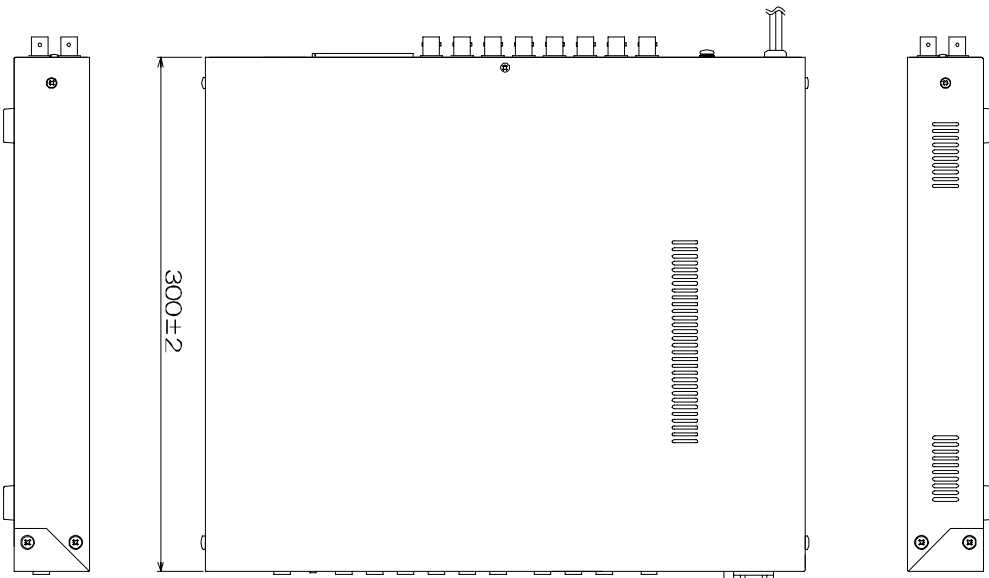
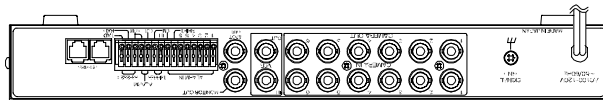
### ■ ラック マウント 金具の取り付け方



# 製品仕様

■映像入力	NTSC方式準拠
■カメラ映像入力	VBS,VS 1.0Vp-p 75Ω終端 不平衡 6系統×2(ループスルー) BNC端子
■VCR映像入力	VBS,VS 1.0Vp-p 75Ω終端 不平衡 1系統 BNC端子
■モニタ映像出力	VBS 1.0Vp-p 75Ω終端 不平衡 1系統 BNC端子
■スポット映像出力	VBS,VS 1.0Vp-p 75Ω終端 不平衡 1系統 BNC端子
■VCR映像出力	VBS 1.0Vp-p 75Ω終端 不平衡 1系統 BNC端子
■アラーム/リモート信号入力	6系統 端子台(1~6チャンネル) 無電圧メイク/ブレイク接点(TTLレベル) パルス幅:100msec.以上 パルス間隔:200msec.以上
■アラーム信号出力	1系統 端子台 オープンコレクタ DC12V 100mA以下
■トリガ入力端子	1系統 端子台 TTL正/負レベル パルス幅:3msec.以上 パルス間隔:33.4msec.以上 17sec.以内
■RS-232C (オプション)	1系統 端子台(RXD,TXD,COMMON) RS-232C信号規格準拠
■RS-485 (オプション)	1系統 モジュラ ジャック(RJ11)×2(ループスルー) RS-485信号規格準拠(Half Duplex)
■映像出力表示	単画面 1~6チャンネル,4分割画面A,4分割画面B,6分割画面 1/60リフレッシュ ノイズレス切換え
■オートシーケンス	単画面 1~6チャンネル または 4A,4B,6分割画面 切換え時間:約001~999秒に可変
■ライブチャンネル	オート シーケンス時の各単画面および各分割画面につきSKIP設定可
■アラーム保持時間	約001~999秒に可変
■タイトル挿入	各チャンネル最長8文字
■周囲温度	0°C~+40°C(但し、結露無きこと)
■電源電圧	AC100~120V
■消費電力	約13W
■外形寸法	350(W)×300(D)×44(H) (ゴム足、突起部除く)
■質量	約3.0kg
■付属品	取扱説明書.....1
■オプション	ラックマウントキット(JIS) RMI-J1-351(ラックマウント金具×2) ラックマウントキット(EIA) RMI-E1-351(ラックマウント金具×2)

※ オプションにつきましては、弊社営業部までご連絡ください。



## 故障かなと思う前に…

症 状	確 認 事 項
映像が出ない	●電源ケーブルがコンセントからはずれていませんか ●TVカメラからの映像信号は、入力されていますか ●モニタにモニタ出力が正しく接続されていますか
映像にノイズが出る	●TVカメラの同軸ケーブルは正しく接続されていますか ●TVカメラの同軸ケーブルの近くに電源線がありませんか
単画面表示にならない	●モニタにVCR出力が接続されていませんか ●前面部のVCRボタンのLEDが点灯していませんか
操作がきかない	●ロック機能がはたらいていませんか
録画ができない	●VCRにVCR出力が正しく接続されていますか ●外部トリガによる切換え、プログラムトリガによる切換えは、正しく設定されていますか ●プログラムトリガで使用する場合、タイムラプスVCRの録画する間隔と、本機のVCR出力の映像を切換える間隔は正しく設定されていますか
リモート/アラーム入力が正常に動作しない	●ケーブルの配線は、正しく接続されていますか ●配線ケーブルにノイズがのっていませんか ●スイッチ、リレー接点に0.01～0.1μFのセラミックコンデンサを取り付けてありますか

### 修理を依頼されるときは

- 本機が正常に動作しないときは「安全上のご注意」「故障かなと思う前に…」をもう一度ご覧いただき、なお異常のあるときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 修理をお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。

品名 : 6チャンネル マルチプレクサ MCS-661

症状 : 設置状態を含めできるだけ詳細にお知らせください。

## 品質保証規定

取扱説明書の注意事項に従った使用状態でご使用中に発生した故障については、お買い上げの日より1年間、無償にて修理させていただきます。

※保証期間内であっても、下記の場合有償となる場合がございます。

- ①お買い上げの年月日、および販売店について証明となるものをご提示いただけない場合。
- ②ご使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障および損傷。
- ③お買い上げ後の移動、輸送、落下などによる故障および損傷。
- ④火災、地震、水害、落雷、その他天変地異のほか、公害、塩害、異常電圧などが原因となって発生した故障および損傷。
- ⑤故障の原因が本機以外にあり、本機に改善を要する場合。
- ⑥付属品などの消耗品による交換。

## おことわり

本機は、その特徴上、犯罪や災害等の監視のためにご使用されるケースが考えられますが、決して犯罪や災害の抑制、および防止器ではありません。

また、本機のご使用方法の誤り、不当な修理や改造のほか、誘導雷サージを含む、天災などの被害により発生した事故や、人身事故、および災害、盗難事故による損害については責任を負いかねますのでご了承ください。

# 保証書

品名 : <b>MCS-661</b>	本体裏シールの SER. No. (製造番号) をご記入ください No.	
お客様名 : ご住所 〒 TEL:	様	取扱販売店名・住所・電話番号
保証期間	お買い上げ日 年 月 日より <b>1年間</b>	

**Artics**  
株式会社 アルテックス

住 所 神奈川県相模原市麻溝台 8-22-1  
営業部ダイヤルイン 042(742)2110  
F A X 042(742)3631  
E - M A I L info@n-artics.co.jp  
U R L http://www.n-artics.co.jp

